

小地域福祉活動連絡会グループワーク詳細意見

10月20日（木）

○1 グループ

- ・なかなか集まらないので、「脳トレ」の間違い探しやパズルなどを書籍やHPなどからコピーし、印刷して配布したりなど工夫して活動した。コロナ禍のため、ポスティングや電話で活動の火を消さないようにしている。コロナが落ちついてきたら、顔合わせをしたり、お茶菓子を配るなどをした。（15～16名程度）みんなおしゃべりをしたいとの要望がある。
- ・10月からは1時間位の時間で、脳トレをみんなで行う予定。自粛が続き体が鈍っている方が多く、活動の中にラジオ体操を入れようと思っている。
- ・9月から月2回外での体操を始めた。メンバーの中には運動不足のため、足を動かさなくなった人もいて、年を取っても体を動かすことがとても重要なことと感じた。
- ・感染症対策を行いながら町内で行っているふれあいサロンは、参加者がおしゃべりを楽しんでいる。
- ・墨田区のエリアによってイベントの開催場所が偏っている。当方のエリアはほとんど区や社協などのイベントが近くで行われないので参加できないのを改善して欲しい。
- ・高齢者が多く、コロナの緊急事態宣言が「解除されないと活動はやれない」という人が多く、活動自体はコロナ禍で何も出来ないのが現状です」との訴え。自宅をサロンにしているが、このままだと継続するのが難しいと考えている。近日中にメンバーとの話し合いを行い、今後どうしていくのかを決めていきたいとのこと。コロナが完全に終息しないと難しいと感じている。参加者の皆さんもまだまだ声もかけられない状態なので、メンバーの民生委員さんが個別で電話にて安否確認をしているのが現状。

○2 グループ

- ・開催や中止の判断は町会長が行い、去年は町会・老人クラブ・サロンは全て中止の時があった。
 - ・最初の半年はクラスターの心配から休みだった。しかし、うつ病になり要介護申請された方がおり、閉じこもりへの弊害が分かってきたので、再開しようという話になった。
- 活動の必要性を確認できた。
- ・10/26から再開予定。
 - ・2か月に1回、別の会議で会う時に民生委員と自分で話し合いを行った。

- ・民生委員は電話などで連絡していた。
 - ・アルコール・マスクを各家庭に配り、「何かあれば連絡ください」と伝えた。
 - ・見守りメンバーに気にしてもらい、毎月近況報告を6人で行った。日常の中でも見守りを行った。
 - ・ポスト投函も行った。
 - ・みまもりネットワークは町会が絡むと使い方など決め事があり制約があるので、自由に活動できるように町会からは補助をもらわないようにしている。
-
- ・受援力の講座を受けた。
 - ・12月にユニフォームと名札を作成した。
 - ・3月に戸別訪問し、マスクを配布しながら安否確認をした。
 - ・公園内などに花を植えるグリーンボランティアを始めている。
 - ・マップ作りの1回目を行い、2回目は12月に予定している。
 - ・11月も健康体操のサロンを実施予定。